

カインズと花王の共創プロジェクト 店舗にリユースコンテナ(折りたたみコンテナ)をテスト導入 段ボール使用量の削減による資源循環の促進とカーボンゼロへの効果検証を開始

株式会社カインズ(代表取締役社長 CEO:高家 正行 以下「カインズ」)は、花王株式会社(社長・長谷川佳宏 以下「花王」)と協働し、2022年7月6日から、製品の梱包および運搬用として繰り返し使用可能な折りたたみコンテナ(以下「リユースコンテナ」)を、東京都内のカインズ1店舗にテスト導入します。また、リユースコンテナの活用による環境負荷低減(資源循環の促進・カーボンゼロへの貢献)と作業効率向上に向けた効果検証を実施。そこで得られた知見を生かし、リユースコンテナの導入店舗拡大とともに、業界全体の取り組みへと発展させることを目指します。



リユースコンテナ

カインズでは、2021年10月に「くみまち構想」^{※1}を策定しました。くみまち構想が目指すのは、共感を寄せてくださる企業や自治体、学校、地域住民の皆さまと共創し、「まちのくらしをみんなでDIY。」することです。

くみまち構想が掲げる15の共創価値領域の1つに「環境」があり、その環境の中の主なテーマとして、「カーボンゼロ」と「資源循環」を置いています。カインズは、2050年までにカインズのサプライチェーン全体のカーボンゼロを達成するとともに、カインズのある「まち」のカーボンゼロ達成にも貢献していくこと^{※2}をめざしています。

2022年6月には太陽光発電や木質バイオマス発電の電力を使用し、カインズでは初めて、店舗で使用する電力を100%再生可能エネルギーで調達する“CO₂フリー店舗”、カインズ壬生店を栃木県にオープンしました。

また、店舗では資源回収ボックスを設置しているほか、各メーカーと協働で大容量の詰め替え洗剤・柔軟剤などを販売することで、2021年にはカインズ店舗における年間のプラスチックごみの排出量を120t^{※3}削減しました。さらにラベルレスボトル飲料や、再生ペットボトルで作られた食器「軽スタ 樹脂食器」の販売など、オリジナル商品における資源循環の促進とカーボンゼロの取り組みも進めています。



組む

+

まち

- ・人々が自立し、共に楽しみ助け合う
- ・人々が主役のつながる「まち」、店舗とメンバーがハブ
- ・くらしの様々なステークホルダーと共創

花王グループでは、これまでの企業活動の中で培ってきた「よきモノづくり」の思想を「ESG視点でのよきモノづくり」へと高め、環境や社会に配慮した取り組みを強化しており、脱炭素社会の実現に向け、「リデュースイノベーション」と「リサイクルイノベーション」に取り組む事で、事業活動に伴い排出されるCO₂を2040年までにゼロ、2050年までにネガティブをめざしています。花王は2019年4月にESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」(キレイライフスタイルプラン)を策定し、19の重点取り組みテーマを設定しており、本取り組みは「脱炭素」に貢献する活動です。

このたびカインズと花王は、お互いの環境ビジョンに共感し、共創の取り組みを行うことにしました。

製品が納入される際の梱包および運搬材について、これまでは主にリサイクル可能な段ボールが使用されてきましたが、店舗での開封・廃棄作業の負担やリサイクル過程のCO₂排出量といった面で課題がありました。

そうした両社共通の課題解決へ向けて、カインズと花王は繰り返し使用可能なリユースコンテナをテスト導入、それを回収・再利用する共創の取り組みを開始します。また、両社で「納品」「陳列」「販売」などさまざまな場面においてリユースコンテナを活用することの利点と課題を抽出し、その効果を検証します。今後は、検証結果をもとに、まずは実施店舗の拡大とともに、将来的には業界全体でのリユースコンテナの標準化をめざしてまいります。

※1 「くみまち構想」 <https://www.cainz.co.jp/about/effort.html>

※2 2050年カーボンゼロ達成目標を策定

https://www.cainz.co.jp/images/information/pdf/20211025_info.pdf

※3 花王、P&G、ライオンの3社のカインズ限定大容量品が対象

2021年1月～12月でのカインズ販売実績より算出(カインズ・メーカー調べ)

<主な取り組み内容>

■目的

「循環型包装材」としての、折りたたみコンテナ使用の効果検証

■内容

製品輸送における品質担保、製造工場での取り扱い性、物流拠点での作業効率の確認、店舗課題の解決、販売への寄与、循環型折りたたみコンテナのしくみを検討します。

■検証期間

7月6日から12月31日

■実施店舗

カインズ 南砂町SUNAMO店(実施店舗は、以降拡大予定です)

■使用する折りたたみコンテナの数量

約10,000梱/月

<花王株式会社 概要>

代 表 者： 代表取締役 社長執行役員 長谷部佳宏
所 在 地： 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 14 番 10 号
設 立： 1940 年 5 月 21 日(創業:1887 年 6 月 19 日)
従 業 員 数： 33,507 名(2021 年 12 月 31 日現在)
(連結)
事 業 内 容： 「ハイジーン&リビングケア」「ヘルス&ビューティケア」「ライフケア」「化粧品」のコンシューマープロダクツ事業、及び、産業界のニーズに対応した「ケミカル」事業

<カインズについて>

株式会社カインズは、28 都道府県下に 230 店舗を展開するホームセンターチェーンです。「くらしに、ららら。」をお客様とのプロミスとし、日常生活に寄り添うライフスタイルの提案と、住空間のトータルコーディネートを意識した商品づくり、店舗づくりに努めています。くらしを豊かにする商品を、オリジナル商品の開発と、独自の仕入れ・物流システムの活用により、毎日低価格で提供します。

<株式会社カインズ 概要>

代 表 者： 代表取締役会長 土屋 裕雅
代表取締役社長 CEO 高家 正行
設 立： 1989 年 3 月
本 部 所 在 地： 埼玉県本庄市早稲田の杜 1-2-1
資 本 金： 32 億 6,000 万円
事 業 内 容： ホームセンターチェーンの経営
従 業 員 数： 12,995 名(2022 年 2 月末)
店 舗 数： 230 店舗
公 式 サイト： <https://www.cainz.co.jp/> (企業サイト)
<https://www.cainz.com/> (オンラインショップ)
<https://magazine.cainz.com/> (となりのカインズさん)